

育児のちょっとアドバイス

日々の育児の中で、ほっとしたり、ヒントになるような言葉を、本の中から紹介していきます。書籍の貸出も行っています。

大切なのは、お母さんが幸せなこと。

お母さんが大事にされていること。

お母さんがまわりの人からいっぱい愛されていること。

「大事にされるってうれしいな」。

そう思ったら、子どもを大事にしてあげよう。

「愛されるってうれしいな」。

そう思ったら、子どもをいっぱい愛してあげよう。

いっぱい愛されているお母さんだから、

子どものことをいっぱい愛してあげられるのです。

『はじめてママの赤ちゃんハッピー塾』より 小林洋子 著・大島清 監修 (PHP研究所 2007年12月発行)

ほっと れもんてい ニュース

先日、「外遊びは寒いし、家の中にいると子どもの機嫌が悪くなってしまって…。毎日のように来てすみません。」と声をかけられました。とんでもありません。毎日でも、午前・午後でも、お気軽にいらしてください。そのためのお部屋です。もし、同じように思っている方がいらっしゃいましたら、どうぞそんな遠慮はなさらずに、ご利用ください。寒い時期は家の中に閉じこもりがちになってしまいがちですが、ほんの少しの時間でも外にでると、お子さんの気分も変わるかもしれません。お母さん、お父さんが少しでもリフレッシュできたら嬉しいです。

さて、ほっと れもんていでは、例年この時期にアンケートを実施しています。皆さんがより過ごしやすいひろばを目指して、率直なご意見をいただきたく、ご協力をお願い致します。アンケートは無記名で回収箱に入れていただきますので、個人が特定されることはありません。こんな企画があったらいいな、こんな情報がほしい、以前にこんなことがあって困ったなど、どんなご意見でも構いません。どうぞよろしくお願い致します。

新しいおもちゃも数点仲間入りしています。お部屋を暖かくしてお待ちしております。 担当:山室 八潮

ほっと れもんてい

(あゆのご保育園内)

〒243-0032

厚木市恩名1丁目10番38号

電話・FAX: 046-222-6055

<http://www.ayunoko.ed.jp/>

ほっと れもんていは、

地域子育て支援拠点事業(ひろば型)

として厚木市より委託されています。

開設日: 月～金曜日 (祝日を除く)

開設時間: 9:30～16:00

11:30～13:00はお休みとなります。

利用の際の予約や登録は要りません。

開設場所: ほっと れもんてい (あゆのご保育園内)

13:00～15:00は園庭でお子様と自由に遊んで頂けます。

お越しの際は、あゆのご保育園の駐車場をご利用いただけます。

台数に限りがございますので、ご了承下さい。

地域子育て支援拠点事業(ひろば型)

ほっと れもんてい

2012年 2月号 No. 29

朝の空気は冷たく、まだまだひんやりと感じられる季節ですね。空気の澄んだ日には雪の積もった富士山がとてもきれいに見えます。お子さんと一緒に眺めながら、どうぞ遊びにいらして下さい。暖かい、ほっと れもんていのお部屋ゆつたりとお過ごし頂けるよう、心よりお待ちしております。



育児のヒント

様の育児の参考にさせていただけたらと、『育児のヒント』を記載しています。

今回は、東京大学大学院教育学研究科教授 秋田喜代美先生です。

「お兄ちゃんやお姉ちゃんはよきメンター」

ご家庭で弟や妹が生まれると、お兄ちゃんやお姉ちゃんが退行現象と呼ばれる赤ちゃん返りをするのはよく知られています。また子どもなりにじっと我慢していても、どこかに無理がかかって、熱がでたりお腹がいたくなったりと身体症状に出たりすることもあります。しかし、両親に自分が認められ受け入れられることを十分に子ども自身が感じられると安心し、弟や妹をかわいがりはじめます。そして兄、姉になった誇りもどんなに小さくてもそれなりに感じ始めるようです。しかし一方で、「お兄ちゃんなんだから、お姉ちゃんなんだから」と「…なんだからやりなさい。やめなさい」と役割や立場で表現して言われると、自分自身の存在を受け入れられていない気持ちになって反感が高まり、「やめてごらん、やめて」と言われるよりも、言われたことにより抵抗感を示すことも、日本のいくつかの研究データなどでは示されています。ほんの一言、なにげない一言で子どもはすねてみたり、さりげない認める一言で誇りを感じることができたりするようです。大人も子どもも同じと言えるでしょう。

乳児期の子ども同士のかかわりをみせてもらっていると、お兄ちゃんやお姉ちゃんにあたる年長の子が下の子に共感する経験や相手のために何かをしてあげたいという向社会的行動と呼ばれる意識が育つことがわかります。我が家では姉妹が5歳離れています。下の子が1歳4か月の時、家の中で筆筈に頭をぶつけて泣き始めた時すぐに姉がその子のところに走って行って頭をなでていた姿が印象的でした。弟や妹は他者の気持ちを理解する学びを形成する最初の関係と言えます。

これは上の子だけではなく下の子にとっても同様です。親だけではなく、お兄ちゃんやお姉ちゃんも下の子にとって、人生のよきメンターなのです。遊び場面をみていると、10か月の乳児でも兄弟姉妹がふれた物だと観察し、それを実際にはその通りに模倣できなくて模倣しようとしたりもします。親は

